

現 代 社 会

[I] 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問8）に答えよ。 (38点)

2008年の暮れから2009年の年始にかけて、東京都心の日比谷公園に出現した「年越し派遣村」では、派遣切りで失業した人などを対象に、炊き出しや生活相談などが行われた。おりしも金融危機後の雇用不安が日本列島を覆っていたこと也有って、世間の注目を集めた。

① 3つの特徴を持つ日本の経営によってもたらされる雇用慣行のおかげで、日本は長らく比較的平等な社会であると信じられてきた。しかしバブル崩壊後、企業は正社員を減らし、パートタイマー、アルバイト、派遣労働者、契約社員などの非正規労働者を増やしてきている。また正社員についても、(A) や能力主義的賃金制度を導入する企業が増えてきている。1995年に日本経営者団体連盟は『新時代の「日本の経営」』という報告書で、従来の雇用慣行を変革する青写真を示した。政府も「構造改革」の一環として労働市場の規制を緩めようとしてきた。数回にわたる (ア) 法の改正により、裁量労働制などが定められた。

さらに、日本の雇用慣行の恩恵を受けることができたのは、主に男性正社員のみであるとも指摘されている。② 男性が外で働き、女性が家庭内で家事、育児、介護などに従事すべきであるとする観念のもと、家事、育児、介護などをそれほど負担しなくて済む人びと（その多くは男性）は、正社員として③ 長時間労働に従事しやすい。その一方で、これらを負担する人びと（その多くは女性）は、日本の雇用慣行から排除されがちであったというのである。こうした④ 男女間の不平等の解消に向けてはさまざまな取組みがなされているが、依然として日本における男女間の賃金格差は、先進諸国の中で比較的大きい。

また⑤ 障害者の多くも、障害者雇用促進法などの法整備が行われながらも、なお安定的な雇用慣行から排除される場合が多かったといわれている。

さて、労働者が失業した場合には (イ) による給付金によって一定期間の所得を保障される。しかしこの制度は⑥ 社会保険の一種であり、加入していない

場合には給付金を受け取れない。そのため「年越し派遣村」に集まった失業者の中には、公的扶助の中でも「最後のセーフティネット」とも呼ばれる（ウ）の申請を行った人びともいた。

社会保険と公的扶助を柱とする社会保障の青写真を描いたものとして有名なもののひとつが、イギリスで1942年に出された（B）報告である。この報告にそって第二次世界大戦後、イギリスは「ゆりかごから墓場まで」とも称される社会保障制度を整備し、福祉国家への道を歩んだ。

福祉国家の諸制度は社会政策だけではなく、経済政策としての側面も持ちあわせていた。1930年代以降、需要が不足することによって失業が生じ得ることが問題視され、完全雇用政策と社会保障制度がその解決に役立つと考えられるようになつていった。また社会保障制度は、累進課税制度などの税制とならんで、景気を自動的に安定させる（エ）と呼ばれる財政制度上の仕組みにおいて役割を果たしているとも考えられてきた。

福祉国家のような「（C）政府」は、「市場の失敗」のいくつかを解決するものとして正当化されてきた。しかし他方で、そのマイナス面が「政府の失敗」として批判にさらされてきた。こうした批判の声は1970年代以降に大きくなつたが、そこでは、規制緩和や民営化とともに社会保障の削減は不可欠と考えられた。こうした考え方へ影響を受けて、イギリスで1979年に成立した（D）政権など、「（E）政府」を目指す動きが有力となつていった。

【設問1】文中の（ア）～（エ）に最も適切な語句を、解答欄Ⅰ-甲のア～エに記入せよ。ただし、ア～ウには漢字4文字で、エには漢字またはカタカナで記入せよ。

【設問 2】文中の（ A ）～（ E ）に最も適切な語句を、下の語群から 1 つ選び、その番号を解答欄 I - 乙の A ~ E に記入せよ。

[語群]

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. シャウプ | 2. ブレア | 3. ベバリッジ | 4. サッチャー |
| 5. ベンサム | 6. チャーチル | 7. ボーボワール | 8. 児童労働 |
| 9. 最低賃金 | 10. 生活給 | 11. 年俸制 | 12. 受益者負担 |
| 13. 小さな | 14. 大きな | | |

【設問 3】下線部①に関して、日本の経営の 3 つの特徴として適当でないものを次の 1 ~ 4 のうちから 1 つ選び、その番号を解答欄 I - 乙に記入せよ。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 年功序列型賃金 | 2. 企業別労働組合 |
| 3. ワークシェアリング | 4. 終身雇用制 |

【設問 4】下線部⑥に関して、このような観念を何というか。解答欄 I - 甲に記入せよ。

【設問 5】下線部⑦に関して、業務上の疲労が原因で死亡することを何というか。解答欄 I - 甲に漢字で記入せよ。

【設問 6】下線部⑧に関して、数値目標を定め、一定期間内に機会均等と結果の平等を実現するように取り組むことを何というか。解答欄 I - 甲にカタカナで記入せよ。

【設問 7】下線部⑨に関して、障害のある人もない人も、ともに社会活動に参加できる状態が、当たり前の社会だとする考え方が提唱されている。この考えに基づいて、障害者の生活が、人里離れた施設に隔離されることがあつてはならないと批判してきた。この考え方を何というか。解答欄 I - 甲にカタカナで記入せよ。

【設問 8】下線部①に関連して、日本で社会保険となっていないものを次の 1 ~ 4 のうちから 1 つ選び、その番号を解答欄 I - 乙に記入せよ。

1. 健康保険 2. 介護保険 3. 火災保険 4. 厚生年金

[II] 次の文章を読み、下の設問（設問 1 ~ 設問 9）に答えよ。 (38点)

資本主義経済において、企業は商品やサービスを提供する役割を担っている。例えば、企業は調達した資金をもとに、工場を建設し、機械や原材料を購入し、労働者を雇って商品を生産する。企業の第一の目的は、商品を販売したり、サービスを提供することを通じて、利潤を得ることである。

企業の事業の規模が大きくなると、個人では調達できない巨額の資本が必要になる。そのため、現代の大企業の多くは株式会社という企業形態を採用し、株式と引き換えに多くの人びとから資金を集めている。また、株式発行の他に、（ア）を発行することにより、資金調達をすることもある。これらの発行の手続については、会社法に定められている。

ところで、企業市民ということばが示すように、企業には、社会の構成員として果たすべき社会的責任がある。例えは、安全性の低い商品の販売によって問題を引き起こさないことは、企業に課された社会的責任である。

しかし、それでもなお、許容量を超えた添加物を含んだ食品や安全性の確認が十分にされていない薬品のような有害な商品、ブレーキに異常がある自動車や発火のおそれがある電気製品などの欠陥商品が市場に流通することがある。このような場合に、消費者が、それぞれの商品の問題点を事前に知ることは困難である。それゆえ、企業には商品について十分な説明をする責任があるという考え方が広まっている。

他方、消費者の権利も確立されてきた。とくに、消費者の権利の確立に向けて世界に大きな影響を及ぼしたのが、1962年に、アメリカ合衆国大統領ケネディが特別教書において唱えた「消費者の 4 つの権利」である。

わが国においても、消費者が力を合わせて企業に対抗し、消費者の利益を守ろうとする消費者運動の高まりや、消費者行政の改善により、消費者の権利が確立されてきた。

(A) は、消費者の出資により組織され、安全で安価な日常生活の物品や食品を組合員に提供することを目的として活動している。これも消費者運動のひとつである。

消費者行政について見てみると、1968年に、(B) 法が制定され、消費者の利益の擁護と増進のために、国、地方公共団体および事業者の (C) が明確化された。これを受けて、国民生活センターや消費生活センターが設置された。その後、(B) 法は、2004年に (D) 法に改正され、消費者の位置付けが、保護される立場から、権利を尊重され、自立を支援される立場へと変わった。2009年には、内閣府の外局として、消費者の安全・安心に関わる問題を広く所管する (イ) が設置された。

消費者の権利保護を目的とした立法に目を向けてみると、1995年には、製品の欠陥により損害を受けた消費者を保護するために、製造物責任法が施行されている。また、2001年には、(E) 法が施行された。消費者と事業者が取引をする場合、消費者と事業者との間の情報量や交渉力の格差ゆえに、消費者が不利益を受けることがある。そこで、この法律により、消費者の利益擁護が図られることとなった。

【設問1】文中の (ア) と (イ) に最も適切な語句を、解答欄Ⅱ-甲のアヒイに漢字で記入せよ。

【設問 2】文中の（ A ）～（ E ）に最も適切な語句を、下の語群から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－乙の A～E に記入せよ。

[語群]

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 権利 | 2. 労務 | 3. 権限 |
| 4. 責務 | 5. 免責 | 6. 不買 |
| 7. 消費者基本 | 8. 事業協同組合 | 9. 労働組合 |
| 10. 消費者保護 | 11. 生活協同組合 | 12. 契約取消 |
| 13. 消費者契約 | 14. 消費者保護基本 | 15. 団体契約 |
| 16. 消費者擁護 | | |

【設問 3】下線部①に関連して、企業が法律や規則といった法令、社会的規範や企業倫理を守ることを何というか。解答欄Ⅱ－甲にカタカナで記入せよ。

【設問 4】同じく、下線部②に関連して、企業が行う社会貢献活動のうち、地域の清掃や緑化運動、慈善事業への寄付、従業員のボランティア参加を支援するための休暇制度の整備などの活動を何というか。解答欄Ⅱ－甲にカタカナで記入せよ。

【設問 5】下線部③に関連して、自動車や電気製品などの欠陥が見つかった場合、製造業者がそれを公表し、自主的に無償で修理を行うことを何というか。解答欄Ⅱ－甲にカタカナで記入せよ。

【設問 6】下線部④に関連して、以下の文章の（ウ）に最も適切な語句を、解答欄Ⅱ－甲のウにカタカナで記入せよ。

消費者の知識不足や思いこみにつけ込んだ悪質商法が後をたたない。悪質商法から消費者を保護する制度のひとつとして、（ウ）制度がある。この制度によれば、例えば、訪問販売で短時間に決断を迫られ、不要なものを買ってしまった場合には、一定の期間内であれば消費者から一方的に契約を解除することができる。

【設問 7】同じく、下線部④に関連して、消費者に好まれない商品は市場で売れ残るのだから、どのような財・サービスを生産するのかを最終的に決定するのは消費者であるという考え方を何というか。解答欄Ⅱ－甲に漢字で記入せよ。

【設問 8】下線部⑤に関して、ケネディが唱えた「消費者の4つの権利」のうち、「選択できる権利」、「意見を反映させる権利」以外の権利として最も適切なものを、次の1～6のうちから2つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 交渉する権利
2. 苦情をいう権利
3. 安全を求める権利
4. 契約を解除する権利
5. 知らされる権利
6. 返品する権利

【設問9】下線部⑩に関して、以下の文章の（ F ）と（ G ）に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を解答欄II-乙に記入せよ。

製造物責任法によれば、製品の欠陥によって生命、身体または財産に損害を被ったことが証明された場合に、被害を受けた消費者は製造業者に対して損害（ F ）を求めることができるようになった。以前は、製造物の欠陥による事故について、被害を受けた消費者が製造業者の（ G ）を証明しなければならなかつたが、製造物責任法では、被害の原因となった製品の欠陥が証明されれば、製造業者の（ G ）の有無にかかわらず、損害（ F ）を求めることができる。

- | | |
|-----------|--------|
| 1. F - 弁済 | G - 過失 |
| 2. F - 賠償 | G - 過失 |
| 3. F - 賠償 | G - 責任 |
| 4. F - 弁済 | G - 責任 |

〔III〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問8）に答えよ。 (38点)

第二次世界大戦が終わった後、各国は戦争の痛手からの回復に努めた。それゆえ、1950～1970年の間は世界の多くの国で、戦後復興と経済発展の時期であったといえるだろう。

この時期、世界はさほど環境に配慮せず、経済成長に取り組んだ。それが一段落したころ、地球環境はいたるところで深刻なダメージを受けているといわれ始めたのである。現在の環境問題への取組みも、それが本格化し始めたのは1970年代のことだったのである。

これまで大きく騒がれている問題をいくつか挙げてみると、まず⑩ 地球温暖化の問題がある。これは、温室効果ガス、なかでも二酸化炭素の大気中での濃度が

高まり、地球を温暖化させているというものであって、その対策がいろいろと検討されている。ただし、二酸化炭素の増加が温暖化の原因であるという確かな証拠はまだないようだ。

④ オゾン層の破壊の問題も1990年代には頻繁にマスメディアで取り上げられていた。地上20~30km上空にあって、太陽からの有害な紫外線を吸収しているオゾン層が、フロンガスが原因で破壊されているというものである。この問題の究極は、オゾン層がなくなると地上には生物が住めなくなるというほどの大きな話ではあるが、最近ではニュースにもほとんど取り上げられていない。

また、ごみやプラスチック類を燃やすと生じる化学物質の中には、環境ホルモンと呼ばれるものもあり、それらは生殖機能の異常を引き起こしたり、発ガン性があるともいわれている。この話題も、10年ほど前には毎日のようにテレビや新聞紙上で取り上げられていたものである。

その他、石炭・石油などの化石燃料を燃焼させると、窒素酸化物や硫黄酸化物が大気中に排出され、これらが雨に溶けて降ってくる酸性雨などの問題もある。この問題も、国境を越えた場合には、その解決はなかなか難しいようである。

これらを含め、現代の社会はさまざまな地球環境問題、資源・エネルギー問題を抱えている。こういった問題は、複雑な要素がからみあっていて簡単に解決することが難しい。だからこそ私たちは、「これらの問題の本質は何か」ということをまずしっかりと理解することが大切なのである。

【設問1】下線部④に関連して、1997年12月に開催された地球温暖化防止京都会議（COP3・第3回締約国会議）で、いわゆる京都議定書が採択された。以下の京都議定書に関する文章の（ア）と（イ）には最も適切な人名を、（ウ）には国名を、解答欄III-甲のア～ウに記入せよ。

2001年3月に当時のアメリカの（ア）大統領が突然、京都議定書からの離脱を宣言したため、その発効が危ぶまれるようになった。しかし、2004年に（イ）氏が大統領であった（ウ）が批准したことにより、2005年2月16日に議定書は発効した。

【設問 2】 設問 1 の京都議定書に関連して、サミットとも呼ばれる主要先進国首脳会議に1970年代から参加してきた7カ国のうち、2007年4月に首相が京都議定書の削減目標達成の断念を表明した国はどこか。解答欄Ⅲ－甲に記入せよ。

【設問 3】 同じく、設問 1 の京都議定書に関して、以下の文章の（エ）に最も適切な年を、解答欄Ⅲ－甲のエに数字で記入せよ。

京都議定書では、先進国全体で温室効果ガス排出量を、2008～（エ）年の間に1990年レベルに比べて約5%削減することを定めた。

【設問 4】 下線部⑤に関連して、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、2007年にノーベル平和賞を受賞した。このとき、同時に同賞を受賞したアメリカの元副大統領の名前を、解答欄Ⅲ－甲に記入せよ。

【設問 5】 下線部⑥に関連して、以下の文章の（オ）に最も適切な都市名を、解答欄Ⅲ－甲のオに記入せよ。

オゾン層の破壊を防ぐために1985年に（オ）で開かれた外交会議で、「オゾン層の保護のための（オ）条約」が採択された。

【設問 6】 同じく、下線部⑦に関連して、地球温暖化問題の対策として京都議定書が採択されたのに対し、オゾン層破壊の問題で1987年に採択された議定書を何というか。解答欄Ⅲ－甲に記入せよ。

【設問7】下線部④に関連して、以下の文章の（カ）と（キ）に最も適切な語句を、解答欄III-甲のカとキに記入せよ。

アメリカの海洋生物学者カーソンは、1962年に『（カ）』という書物を著し、DDTなどの農薬の使用が、生体濃縮によって生態系を崩していく危険性を持つことを指摘した。

ごみ焼却時にも発生し、ベトナム戦争で使われた枯葉剤にも混入していたとされる（キ）は、DDTと同じく有機塩素系化合物であり、ホルモン分泌や生殖機能に異常を引き起こす環境ホルモンのひとつともいわれている。

【設問8】下線部⑤に関連して、酸性雨に関する次の1～4の記述について、正しければ○を、間違っていれば×を、それぞれ解答欄III-甲の1～4に記入せよ。

1. 排気ガスや排煙中の窒素酸化物や硫黄酸化物などを含んでいない自然の雨は、中性である。
2. 硫黄酸化物は、水と反応することによって硫酸となるので、酸性雨の原因となる物質のひとつである。
3. 酸性雨の中でも、塩酸が含まれていることによって引き起こされる害は塩害と呼ばれ、近年とくに世界中に広まっている。
4. 酸性雨と同じようなものに酸性霧があるが、これは火山などから噴出している硫化物が原因であり、人為的に起こるものではない。

[IV] 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問8）に答えよ。 (36点)

現代社会の基礎が形成された20世紀は、「メディアの世紀」とも呼ぶことが可能であり、20～30年を単位としてその大きな変革が繰り返しあとづれている。20世紀初頭において最も普及していたマスメディアは新聞であったが、おおよそ

1920年代後半以降、音声を電波に乗せて伝えるラジオ放送が登場したことは、最初の大きな変革といえよう。20世紀は2つの世界大戦によっても特徴付けられているが、第一次世界大戦（1914～1918年）後が、まさにラジオ時代の出発点となっている。これによって多数の人が同じ情報に接触することが可能となり、①
大衆社会の出現にも寄与することとなった。マスメディアの広範な情報伝達は②
大衆民主主義を可能としたが、一方で③
2つの大戦の間の「戦間期」、そして第二次世界大戦（1939～1945年）の期間中、ラジオは各国で戦争宣伝のための手段にもなったことで知られている。

このラジオを中心とした時代はおおよそ1950年代まで続くが、その後ふたたび大きな変化がこのメディア状況に起こる。すなわち音声のみならず、映像も放送することのできるテレビの登場である。その後カメラの小型化や衛星中継などの発展もともない、テレビは地球上で起こった出来事の映像をリアルタイムで視聴者に届けることができるようになった。④
世界中の人が同時に同じ情報を共有することも可能な時代となったのである。

テレビを中心としたマスメディアの仕組みは、デジタル化などの変化とともに現在も私たちの日々の生活や社会のあり方の重要な基盤であり続けているが、20世紀末には、さらに新しいメディアが社会に登場することとなる。すなわち1990年代の後半に普及し始めた⑤
インターネットや携帯電話といったコミュニケーション技術である。これらは個人間をつなぐ道具であるとともに、ホームページや動画配信などによってマスメディアと同様の機能も持つなど、さまざまなメディアの融合が現在進行中である。

いま大学を受験している者多くは、この1990年代の後半から、インターネットや携帯電話と同時に成長してきた世代である。⑥
青年期にこのような新しいメディアに囲まれてコミュニケーションを行ってきたという点で、それまでの世代とは異なる特徴を持っているとも考えられる。⑦
あふれる情報の中で必要以上に不安や失望を感じ、かえって社会に対し目を閉ざすことがないよう、自覚的に生きることも求められるだろう。

【設問1】下線部①に関して、以下の文章の（ A ）～（ D ）に最も適切な語句または人名を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄IV-乙のA～Dに記入せよ。

20世紀に成立した大衆社会では、大量生産・大量消費とマスメディアの情報により人びとの意識は（ A ）されていると指摘されている。巨大組織を管理運営する仕組みとして（ B ）が広まるなど、人間的ふれあいの減少の中で抱かれる孤独感や不安も特徴的であり、『孤独な群衆』を著した（ C ）は同調を特徴とする現代人の社会的性格を（ D ）型と呼んだ。

[語群]

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. フロム | 2. オルtega | 3. リースマン |
| 4. 第一次集団 | 5. 双方向化 | 6. 画一化 |
| 7. 権威主義 | 8. 官僚制 | 9. 高齢化 |
| 10. 家父長制 | 11. 内部志向 | 12. 核家族化 |
| 13. ブランド志向 | 14. 他人志向 | 15. オートメーション |

【設問2】同じく、下線部②に関して、以下の文章の（ ア ）に最も適切な語句を、解答欄IV-甲のアに記入せよ。

とくにバブル崩壊前の日本の特徴として、自らを人並みと考える（ ア ）意識が横並びを好む日本人に広まっていたとされ、安定成長期の社会を描写して「一億総（ ア ）」ともいわれていた。

【設問3】下線部⑤に関連して、以下の文章の（ E ）と（ F ）に最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄IV-乙のEとFに記入せよ。

公共の問題について社会で多くの人に合意され、影響力を持つにいたった意見である（ E ）の形成には、マスメディアが大きな役割を果たしている。そもそも社会全体のありようは、マスメディアを通じてしか理解することができない場合も多いからである。しかし、人びとが現実を認識する際には、パターン化された観念（紋切り型）である（ F ）が影響しやすいことも知られており、それは過度の単純化や偏見の原因ともなり得る。

[語群]

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. スプロール | 2. ステレオタイプ | 3. 直接民主制 |
| 4. 間接民主制 | 5. 世論 | 6. アーキタイプ |
| 7. マニフェスト | 8. 社説 | |

【設問4】下線部⑥に関連して、基本的人権を否定し、全体主義や軍国主義による独裁をこの時期にイタリアやドイツなどで推し進めようとした思想は何と呼ばれるか。解答欄IV-甲にカタカナで記入せよ。

【設問5】下線部④に関連して、以下の文章の（G）と（H）に最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄IV-乙のGとHに記入せよ。

情報化の進展や人、モノの交流が盛んになることで、世界中で共通の文化が広まり、また経済の国際化や標準化が進展していることを（G）と呼ぶ。国境を越えた移動が増大し、異文化との接触を通じた相互理解の進展も期待されるが、一方で自民族の政治、経済や文化を優位と考える傾向である（H）の台頭には注意が必要である。

[語群]

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. オリエンタリズム | 2. マルチカルチュラリズム |
| 3. ポストコロニアリズム | 4. エスノセントリズム |
| 5. カウンターカルチャー | 6. グローバリゼーション |

【設問6】下線部⑤に関連して、情報通信技術の利用機会や活用能力を持つものと持たないものの間に生じる不平等、不均衡を何というか。解答欄IV-甲に記入せよ。

【設問7】下線部①に関連して、以下の文章の（ I ）～（ L ）に最も適切な語句または人名を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄IV-乙のI～Lに記入せよ。

青年期は大人と子どもの間にある不安定な時期であり、エリクソンによつて（ I ）とも呼ばれているが、他者との関わりの中で自分らしさである（ J ）の確立を目指さなければならない。

人間が本質的に持つ欲求は、生理的欲求から所属や愛情、承認といった社会的欲求、さらに高次の自己実現欲求へと階層構造をなしていると考えたのが（ K ）である。青年期はさまざまな欲求が満たされないことも少なくないが、そのような場合に適応しようとする心のはたらきをフロイトは（ L ）と呼んだ。

[語群]

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. エゴイズム | 2. 心理的離乳期 | 3. モラトリアム |
| 4. 発達課題 | 5. マズロー | 6. フラストレーション |
| 7. コンフリクト | 8. 防衛機制 | 9. ホール |
| 10. アイデンティティ | 11. コンプレックス | 12. レヴィン |

【設問8】下線部②に関連して、現代の若者を中心に広がると指摘される、外の社会に対する無気力、無関心の状態を何というか。解答欄IV-甲にカタカナで記入せよ。